

マンションコミュニティにいま思うこと

まちはどのようにして生まれたか

私たちは団塊の世代として、湾岸エリアなど今まで人が住んでいなかった「埋立地」のマンションに雪崩住むようになった。その初代としての「まちづくり」はどうだったのか。

私自身は埼玉県の北部、北坂戸団地の新規入居者としてうきうきと家族で移り住み、そこで「まちはどのようにしてまちになるのか」をつぶさに見届けることになった。

人が暮らしたことのないまっさらな造成地で、コンクリートの群れが皆同じ方向に建ち並んでいる一角で明日から始まる「団地暮らし」とはどんなものなのか、好奇心でいっぱいだった。昔から住んでいた「まち」には歴史があって、人や家との関わりが濃密で、ゆるぎない空気が既にあって息苦しく、何年経っても何も変わらないまちより毎日が新鮮で動いているまちへの期待感が強かった。

まちはこどもから始まった、と今も確信している。こどもが出てきていきなり友だちになり、そのあとから母親たちが出てきた。そこから会話がはじまり生活の情報が交わされ、またたくまにまちになったといえる。

そこで、どんなまちにしたいか、ひとびとは「自治会」を立ち上げ、まずこどものためにという文化を語り合った。わたしも当然のようにそこへ集まり、さらにたくさんの子育て仲間とまちづくりに関わった。

そこでの生活が約4年ほどで、転勤で現在のなぎさニュータウンへ来た。またしても、人の歴史のないまっさらの土地で、自由と不便たっぷりの月面のような最果ての夢の東京生活！

ここでも、見事にこどもからまちが始まった。こどもの無垢な「交渉力」はその日から始めて、何階の〇〇クンち、といういきなりの会話に驚かされた。

そこでなにをはじめたか

こどものふるさとづくりへ

*まつり・・・みこし、盆おどり、夜店、太鼓、

*文庫づくり・・・本を読む、よみきかせ、人形劇、絵本づくり、コンサート、古本市、映画、観劇、公園遊びなど13年続け、地域に図書館を二館作った。

*運動会・・・号棟対抗、野球、ソフトボール、バレーボール、プール、旅行

*北坂戸団地でのこどもと和太鼓に取り組んだ話を児童文学書にまとめ、出版。課題図書に。

地域へのかかわり

*管理組合事務局へ・・・自主管理のこと（昭和63年～平成17年）

管理組合の事業は住民のよりよい暮らしのための事業

自主管理の7か条

①複数合議の原則（時間をかけても理事、特別委員が共通認識をもつ）

②誰でも自由に発言できる（特定の人に偏らない）

③お互いの特技、分野を尊重し、高めあう

④記録を残す（必ず議事録をとり、全部の理事、委員に配布のこと）

⑤理事長と事務局の交換日誌（現場の状況を見てきたように把握する）

⑥可能な限りお茶、お酒の場を設ける。（外部での酒食を禁止・密室化を避ける）

⑦任期終了の理事や委員を特別委員会や防災会へ誘う（人間関係を持続）

*なぎさ防災会立ち上げへ・・・自主防災会として全国で先駆け（平成8年発足）

- ①たのしくなければ防災じゃない。
- ②何もやらなきゃ何も起こらない
- ③一つ釜の飯を食べる（ついでに飲む）
- ④自分たちのまちは自分たちで守る
- ⑤それは無理だといわない
- ⑥ナリで他人を誘う

平成 13 年：総務省消防庁主催「ぼうさいまちづくり大賞」総務大臣賞受賞

平成 18 年：東京消防庁主催「地域の防火防災功労賞」最優秀賞（消防総監賞）受賞

まちはどうかわっていったか

平成 17 年に組合を定年退職、20 年頃防災会副会長を辞し、東京湾岸集合住宅ぼうさいネットワークを立ち上げ、代表幹事に。

災害と意識の変化：東京湾岸エリアの高層、超高層マンションが災害に遭遇したらどうなるか。

- *防災マニュアル、防災備蓄あれこれ・・・メカニズムとハード対応
- *日頃のコミュニティは？・・・被災者としての自分、他者の在りよう
- *多分大丈夫と思わせるもの・・・楽天性と現実逃避

なぎさニュータウンのいま・・・

- *管理組合、自治会、防災会の活動マンネリ、権威化。
- *高齢化・・・思ったより早くきた（家族の変化、退職、病気、など）
 - ※実態は 25%？、実感は 30%、フロアは 70%・・・
- *コミュニティへの仕掛け・・・子ども主義から高齢者専一へ
 - （自治会系）夏季祭り、もちつき、麗樹会、虹の会、高齢者サロン、ゲートボール、なぎさ太鼓など
 - （独立系）葛西まち文化研究会、ばっは亭、カラオケ会、麵ず俱樂部、その他同好会多数
 - （管理組合・自治会）防災会、緑育会、ペットクラブ

現状とこれから

入居 35 年を迎えたマンションの体力、コミュニケーション力、創造力が大きく問われる現状だが、最初は先進的な議論の末に生まれた種々の活動母体も、時間を経て形が整ってくると形式に拘り方向性が怪しくなってくるのは仕方がない。

次々に周囲を巻き込んで、成長をし続ける活動は理想で、むしろ持続することのほうがずっと難しいのだから。しかし・・・

- *地域コミュニケーション力を持たない「企業内でかつて偉かった」層の権威、あるいは「カオ化」した行政直結の政治力に近い層が組合や自治会で横行。物言わぬ女性たち、エプロン族も同調。しかし、あえていえば、そのような「層」に支えられてバランスが保たれているという地域の現実もあなどれない。
- *社会進出後のリタイア女性の変化・・・組合や自治会の微妙な空気を察知、自分磨きへ遁走
- *地域コミュニティ（男性も女性も）は多彩に活性化し、自己満足、ボランティア、社会参加、などに目的が枝分かれる。

*様々な会や活動に参加しない多くの物言わぬ人達の現状について

緑育会会報 10月号

平成 25 年 10 月 1 日
なぎさの緑を育てる会
会長：千田節子

◎9 月 12 日 秋の花壇作り

夏の間に伸びた雑草を退治。6 号棟のパルガーデンにはオシロイバナの群生が。この花は雑草にしてはとてもきれいだけど、余りに生命力が旺盛で他の花を退化させてしまうので、適当に片付けました。

玉すだれがポツポツ咲き出しました。8 月に蒔いた種は多分除草のときに消えた？

ウッドデッキ前のガーデンは阿部さんが手入れをしていたのですが、お祭り前にみんなで除草をし柵をたてておきました。除草のあと、菜の花のこぼれ芽がたくさん出ていて、また来年にいい花を咲かせるかも。

◎9 月 19 日 さんまを愛でる会

恒例のさんまを愛でる会として 20 人程度の秋刀魚を用意しました。誰でも参加 OK としていたのですが、結局 16 名でした。さんまは 130 円で高値が言われていたわりにはまあまあのお値段。それに身振りがよく、結構おいしかったのですが・・・。やっぱり炭火で焼くにはコツがあって、何年やっても、年に一度の修行では難しい。季節のものをみんなで楽しむというのはいいけど焼き手さんがずっと外で焼くだけというのもどうかね。

◎9 月 23 日 中央広場の花植え替え作業

作業にぴったりのとてもいい天気。例によって、緑地部の集合を待っていたが、部長の挨拶もなしでいきなりあちらはあちらで始まる。何回か言ったけど、もうあきらめた。まだ咲いているのもあったが、全部抜いて、堆肥を入れる作業からはじめる。なでしこ、キンギョソウ、マリーゴールド、いずれも秋にふさわしい長持ち系の色も賑やか系。モミの木が何となく元気がないのが気がかり。

◎9 月 26 日

朝から台風の影響で白雨、細かくて霧のようなそれでいて強い降り、夏の季語でしかもタ立のことですが、「朝立ちに傘いらす」の言葉通り 10 時ごろにはさっぱりと上がってしまいました。作業は中止で役員会へ。12 月の総会へむけて準備、来期の活動についてざっくりと話し合いました。雨が上がったので、パルガーデンに「コスモス」の種を蒔きました。

この日、憩いの森に新しいベンチ取り付け。同時に八海樹園がクリスマスローズ、アカンサス、ヤブランなどを植え込んでいた。なぜかコンサルはヤブランが大好き。手入れがいらぬし、ワイルドな庭が好きなようだ。私たちが植えたアガパンサスは一年中緑の葉がきれいだし、クリスマスローズも撤去はしないとの約束だったので、それ以上は口が出せないの黙って見守りましょう。

◎9 月 29 日 緑地部の見学ツアー、来月号で紹介します。みんな元気で行ってきましょう。

10 月、11 月のスケジュール

- | | | | |
|--------------|------------------------------|------------------------|----------------------------|
| 10 月 3 日 (木) | 作業なし (前回お知らせを変更しました) | みどり会 | 3:00~6:00 |
| 10 日 (木) | 土集め (募集) 中央広場で実施、その後堆肥置き場へ | | |
| | 作業あり 除草その他 | 9 時 30 分~ | みどり会・もへし会 3:00~9:00 |
| 17 日 (木) | 作業なし | みどり会 | 3:00~6:00 |
| 24 日 (木) | 作業あり 種、球根まきなど。9 時 30 分~ | | |
| | 12 時~役員会、誕生会 (丸橋、西井) 和室にて | | |
| | | みどり会 | 6:00~9:00 (第 4 木は 6 時からです) |
| 11 月 7 日 (木) | 作業なし | みどり会 | 3:00~6:00 |
| 14 日 (木) | 作業あり 10 時集合 (11 月から 10 時集合!) | みどり会 | 3:00~6:00 |
| 21 日 (木) | 作業なし | みどり会・もへし会 | 3:00~9:00 |
| 28 日 (木) | 作業あり 10 時集合 | 12 時~役員会、誕生会 (渡辺信、渡辺幸) | 和室にて |
| | | みどり会 | 6:00~9:00 (第 4 木は 6 時からです) |

※12 月 5 日 総会・忘年会予定

12 月 12 日 作業終了予定 8 日 (日) ごろイルミネーション取り付けか？

平成 25 年 10 月 1 日

もへじ舎・おかみ

注：いつもはおかみは滅多に出ません。「うそらひばり」とか「うしろあき」とか「ももえみな」など多数の裏芸人が主催してます。

はい、ひさしぶりに「おかみ」がごあいさつ。おおかみじゃありません、お・か・み。

このごろ、もへじ舎を閉めようとつぶやいた途端、なんだか急に「閉めるな」という声や、「もへじ太郎」の個人レッスンで「米太郎」まで特訓を受けだすという珍現象が。大体、「音痴三兄弟」として堂々のデビューですから正視できません。三人といっても、この頃麗樹会での特別レッスンを受けてなんだか「新曲」を次々にモノにして、清純可憐な「ばっは亭」にまで進出ですから、米太郎を除いた二人はもはややる気満々。

これほどまでに歌に汚染されるとは・・・最も寿太郎という「歌癌」の先輩が一人で3時間4時間平気という恐怖の歌道一直線がいるわけで。企業戦士の血が騒いで勝つと思うな負けるが勝ちよ？みたいな意味不明な暗黒路線に迷い込んでいるようなのよ。

もう、こうなったら見てるしかありません。病気みたいなもんで、熱が下がるまでスルーです。けどさあ、股旅のおかみも10月は忙しいのよ、もう。

でも、とにかく、カッパ太郎みたいに若者顔負けのエネルギーなおっさんも信じられない新曲で歌いまくるという現象ですから、確かに歌は身体にいいのかも・・・

しゃあねえよ、やるしか。

注：もへじ太郎（パーキンソン）、ぐち太郎（難聴）・・・超音痴
米太郎（千田の亭主）・・・超超音痴 寿太郎（歌手かと思紛う歌上手）・・・自分も歌手のつもり
カッパ太郎（80歳を超えている）・・・三重県の実家となぎさを行き来する超元気人。新曲をスマホで聴いて覚えてくる。
もへじ舎おかみ・・・美人との評判。牢名主とも。 その他：20数名の与太郎たち

◎10月10日（木）6時～ 但し、3時から「みどり会」として緑育メンバーが歌っています。時間のある方は3時からでもどうぞ。

◎11月21日（木）6時～ 同上

※手料理の方は若干品数が減るかもしれません。時間が長くなると飲み物が増える傾向があるかもしれませんので、おかみとしてはやや、セーブさせていただきます。